

平成23年度事務事業評価表(平成22年度振り返り)

政策名		市民一人ひとりが共につくるまち		施策番号・名		03		互いに尊重しあえる意識の醸成		基本事業番号・名		03-04		平和意識の尊重				
事務事業番号	所管課係名	事務事業の概要 (根拠法令等、財源、上乘、形態)	事務事業の目的 事務事業の対象、手段(事業内容)、意図	対象指標 (対象の数値指標化)		活動指標 (手段の数値指標化)		成果指標 (意図したことの結果の数値指標化)		事務事業全体				一般財源分				全庁評価会議 (24年度に向けた方向性等)
	事務事業名			指標	実績値 (単位)	指標	実績値 (単位)	指標	実績値 (単位)	事業費 (実績額) ① (千円)	人件費 (理論値) ② (千円)	トータル コスト ①+② (千円)	事務事業の方向性、項目別評価 及びその理由等		特定財源に伴う一般財源		一般財源	
03-04-01	企画経営室総務課	<input checked="" type="checkbox"/> 自主的 <input type="checkbox"/> 義務的 <input type="checkbox"/> 努力義務的 <input type="checkbox"/> 全額補助 <input type="checkbox"/> 一部補助有 <input checked="" type="checkbox"/> 市全額 <input type="checkbox"/> 市独自乗せ(上乘・横出) <input checked="" type="checkbox"/> 直営(委託無) <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・助成金 <input type="checkbox"/> その他()	対象 市民 手段・内容 ①写真展「東京大空襲と世界の難民」 ②「平和の千羽鶴」 市民の方に、平和への願いを込めて「鶴」を折っていただき、平和の千羽鶴として仕立て、広島市、長崎市へ送る。平成22年度は5万羽を送った。 意図 ・一人でも多くの市民に平和の尊さを理解してもらう。 ・平和意識の醸成を図る。	市民人口	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	24年度以降に向けた方向性： 現状維持 必要性 4 有効性 3 達成度 3 効率性 3 説明欄： 平成22年6月1日より平和市長会議に加盟し、より一層の平和意識の醸成に向けて事業を推進する。 できるだけ多くの市民に平和についての理解を深めてもらうことを目的に、必要最小限の予算、人員で実施している。 事業効果を高めるためにも、今後も啓蒙活動や事業内容などの周知に努める。	説明欄： 平成22年度 146 所管課長 総務課 小林 尚生 平成21年度 156 説明欄： 平成22年6月1日より平和市長会議に加盟し、より一層の平和意識の醸成に向けて事業を推進する。 できるだけ多くの市民に平和についての理解を深めてもらうことを目的に、必要最小限の予算、人員で実施している。 事業効果を高めるためにも、今後も啓蒙活動や事業内容などの周知に努める。 平成20年度 120	説明欄： 平成22年度 24年度以降に向けた方向性： 現状維持 必要性 4 有効性 3 達成度 3 効率性 3 説明欄： 平成22年6月1日より平和市長会議に加盟し、より一層の平和意識の醸成に向けて事業を推進する。 できるだけ多くの市民に平和についての理解を深めてもらうことを目的に、必要最小限の予算、人員で実施している。 事業効果を高めるためにも、今後も啓蒙活動や事業内容などの周知に努める。				
	2010年東久留米市平和事業				114,754 (人)	444 (人)	86.1 (%)	146	2,304	2,450								
	平成21年度				114,807 (人)	407 (人)	未実施 (%)	156	2,170	2,326								
	平成20年度				114,692 (人)	437 (人)	82.6 (%)	120	2,507	2,627								
	平成20年度																	